



平成 29 年度事業計画書



強い人財



福島県浜通り都市圏の中核を担う
世界に誇れる復興モデル都市



強い企業



強いまち



いわき商工会議所

【目 次】

| | |
|--------------------|------|
| ■基本方針 | p 1 |
| ■重点事業 | p 2 |
| ■創立 50 周年記念事業 | p 5 |
| ■部会事業計画 | |
| (1) 商業部会 | p 6 |
| (2) 工業部会 | p 6 |
| (3) 建設業部会 | p 7 |
| (4) 観光・飲食業部会 | p 7 |
| (5) 生活サービス業部会 | p 8 |
| (6) 運輸業部会 | p 8 |
| (7) 情報通信業部会 | p 9 |
| (8) 理財・都市開発業部会 | p 9 |
| ■常置委員会事業計画 | |
| (1) 地域振興委員会 | p 10 |
| (2) 産業振興委員会 | p 10 |
| (3) 経営力強化委員会 | p 11 |
| (4) いわきブランド推進委員会 | p 11 |
| (5) 総務運営委員会 | p 12 |
| ■特別委員会事業計画 | |
| (1) 小名浜港物流高度化特別委員会 | p 12 |
| ■地区委員会事業計画 | |
| (1) 平地区委員会 | p 13 |
| (2) 小名浜地区委員会 | p 13 |
| (3) 常磐地区委員会 | p 14 |
| (4) 勿来地区委員会 | p 14 |
| ■青年部/女性会事業計画 | |
| (1) 青年部 | p 15 |
| (2) 女性会 | p 15 |
| ■商工会議所に関する事項 | p 16 |
| ■主要関係団体 | p 18 |

[基本方針]

～福島県浜通り都市圏の中核を担う世界に誇れる復興モデル都市を目指して～

世界に類を見ない複合災害となりました東日本大震災及び東京電力福島第一原発事故の発生から間もなく6年が経過しましたが、現在のいわき市は、リーマンショック以降の製造品出荷額の減少、少子高齢化の進展や東京への若者の流出といった震災前からの課題に加え、復興特需の終了、中小企業における人手不足及び後継者難、双葉地区町村との共生、深刻な状況が続く観光産業や水産加工業等の再生、(仮称)イオンモールいわき小名浜のオープンなど、新たな地域課題への対応を迫られております。

こうしたなか、いわき商工会議所と致しましては、会員企業の経営持続を第一に考え、原発事故の早期収束に向けた政府及び研究機関の誘致、前例に捉われない企業支援策の要望と各種補助金を活用した復興支援、国の認定を受けた中小企業の成長支援、商工会議所ネットワークを活用した商談会や物産展の開催、経済波及効果の大きいIGCCを中心とするエネルギー産業の集積、安心安全を裏付けるモニタリングプロジェクトなどに取り組んで参りました。とくに平成28年度においては、農業をベースとした体験型観光拠点施設のオープン、いわき発の地域密着型スポーツクラブの躍進、映画「超高速!参勤交代リターンズ」の大ヒットなど明るい話題が続くなか、経営発達支援計画のモデル事業「いわき企業活性化プロジェクト」の実施、次代を担う子どもたちを地域を挙げて育成する「いわきアカデミア」の始動、都市機能や居住機能を再整備する「中心市街地活性化基本計画(平地区)」の認定など、未来へつながる基盤となる事業に着手したところです。

新たな役員・議員の任期が実質的にスタートする平成29年度、いわき商工会議所は創立50周年という節目の年を迎えます。会員企業とのつながり力の強化、地域に対する商工会議所のアピール強化に向け、今後の事業展開につながる新規プロジェクトを企画・実施するとともに、次の50年を見据えながら、先に策定致しました「いわき商工会議所地域振興ビジョン2014」に基づき、①学術研究機関が集積した知の拠点都市、②廃炉・エネルギー等の新産業拠点都市、③暮らしやすい生活拠点都市の実現を目指して参ります。

そして、そのための事業方針として、柔軟な発想のもとに、あらゆる局面においてイノベーション(変革・創造)を図りながら、①世界に通用するブランド力(いわきプライド)を持つ「強い企業の育成」、②創造性に富み課題解決能力を持つ「強い人財の育成」、③多くの関心人口を持つ「強いまちの育成」を掲げ、具体的な事業に取り組み、成果を上げて参ります。

[重点事業]

1.強い企業の育成

原発廃炉産業(ロボット、AI、ICT、放射線、水処理等)やエネルギー産業(IGCC、バッテリー、浮体式洋上風力発電、水素等)に関する学術機関、研究機関、関連企業のさらなる誘致を進めるとともに、こうした新産業と地元企業との取引や連携を促進することにより、地域経済の屋台骨を支える「強い企業の育成」を推進します。

また、国の経営発達支援計画の認定を受けたメリットを最大限に活かし、経営指導員が中心となり、最も身近な経営パートナーとして、個々の企業に寄り添った事業計画策定や事業承継の支援、補助金等中小企業支援施策の活用支援、商談会や物産展を通じた販路開拓の支援など、前向きな小規模事業者の取組みを支援します。

◆いわき産業フェスタの開催

※成長産業である再生可能エネルギーや蓄電池産業など、次世代の産業育成を推進すると共に、首都圏の産業支援機関と連携し、首都圏等の企業と地元企業を結ぶビジネスマッチングなど、いわき地域の産業振興を目的とした「いわき産業フェスタ(11月)」を開催します。

◆「メイド in いわき復興大商談会」の開催

※全国の流通バイヤーを集め、市内企業のビジネスマッチングと販路開拓支援、いわきの復興発信と風評解消のため、東京商工会議所、東北六県商工会議所連合会、仙台商工会議所、各商工会地区等と連携しながら、オールいわき体制でいわき復興大商談会を開催します。

◆「いわき市中小企業・小規模企業振興基金」の創設

※地方創生における地域活力の維持、新たなイノベーションを起こすため、その中核となる中小企業・小規模企業の経営基盤の強化と自立促進のため、経営戦略構築、販路拡大・企業取引促進、人財育成、創業、事業承継等、中小企業・小規模企業を総合的に支援する基金を官民連携で創設します。

◆「いわき事業承継支援センター」運営事業

※中小・小規模事業者が直面する事業承継の課題と向き合い、円滑な事業承継の支援のために設立した「いわき事業承継センター」を核に、金融機関や専門機関等と連携しながら、中小企業庁ガイドラインに基いた個々の企業の実情に応じた段階的な支援を行います。

2.強い人財の育成

「ひと」こそが復興と創生の重要な鍵を握ることから、行政や教育界との連携による一貫したキャリアプログラムのもと、子どもたちの郷土愛、創造力、課題解決能力を高めながら、社会で通用する「強い人財の育成」を推進します。

また、若者の地元定着と人財還流を図るとともに、たとえ故郷を離れても故郷で育ったことを忘れることなく、ずっといわきとつながり続ける人財の育成に努めます。

さらには、市内外の大学と連携したキャリア教育の推進、研究機関の知見を活用した高度技術者の育成、近い将来に経営の第一線に立つ青年経済人の資質向上、さまざまなセミナーや研修会開催による各階層のスキルアップなど、地域と企業を支える幅広い人財の育成を推進します。

◆いわきアカデミアプロジェクトの推進

※いわきアカデミア推進協議会を中心に、教育界、行政、地域団体、産業界等が連携を図り、次代の地域・企業を支える子供たちの成長段階に応じた一貫した教育プログラムの構築を推進します。

◆「ジュニアエコノミーカレッジ in いわき 2017」の開催

※市内小学生（高学年）を対象に、会社や経済のしくみを学び、実践販売の体験を通じながら、起業家精神を育成します。次代の企業や地域社会を担う、強い人財の育成に向けたプログラム充実化、地域の若き経営者との交流促進を図ることで、いわきの産業や会社に目を向ける機会をつくります。

◆企業を支える人財育成セミナーの開催

※産業振興を支える「いわきものづくり塾」、女性が活躍する企業と女性経営者・社員のスキルアップを目指す「女性かがやき塾」、企業の情報化と技術活用に向けた「ICT セミナー」等、各部会・委員会で企業を支える人財育成の教養講座やスキルアップ研修を実施する。

3.強いまちの育成

いわきの知られざる強みや意外な魅力を見出しながら、さまざまな媒体を通じた情報発信、商工会議所ネットワークを活用した連携事業の実施、商店街友好都市・港区との交流事業の実施、スポーツを切り口としたまちづくりを推進するための官民一体となった体制整備などにより、都市ブランド力の向上を図り、全国各地に数多くの関心人口を有する「強いまちの育成」を推進します。

また、地域経済復興の前提となる安心安全体制の構築に向けた意見活動を行うとともに、いわきが将来目指すべきまちの姿を描きながら、医療、教育、文化、交通等さまざまな都市機能が充実したコンパクトで暮らしやすいまちづくり、そして民間活力を活用した中心市街地活性化事業を中長期的な視点から推進します。

◆10年後に目指すべき「いわきの姿」の調査検討

※いわき市の新たなグランドデザインとなる次期総合計画の策定を見据えながら、いわき市職員と若手経済人が共に調査研究する場を設け、いわきの現況と課題の認識、目指すべき姿の考案、実現可能な具現策等について調査検討、提案していきます。

◆いわき市中心市街地活性化基本計画（平地区）推進事業の実施

※国が認定する「いわき市中心市街地活性化基本計画（平地区）」に基づく、民間主導のまちづくりプロジェクトの具現化に向けて取り組みます。また、中心市街地活性化に関わる企業や市民等を巻き込んだプロジェクト推進を図るため、「未来を創造するまちづくり交流会」の交流・啓発事業を開催します。

◆いわき FC と連携したスポーツによる“まち・ひとづくり”の推進

※地域密着型スポーツクラブ「いわき FC」と連携を図りながら、都市ブランド力の向上、市民の健康増進、子どもたちの育成、観光交流人口の増加、関連ビジネスの振興など、プロスポーツを核としたまちづくり、ひとづくりを官民連携で推進します。

◆いわきインバウンド観光戦略の実行

※市内在住外国人との懇談、専門家アドバイス、先進地視察などの調査研究を踏まえてまとめた「いわきインバウンド観光戦略 2018」に基づき、トライ&エラーを繰り返しながら、プロモーション等の戦略を実行します。

◆“いわき”体験交流事業の実施

※いわきへの関心を高め、将来的な観光交流や定住二地域居住につなげるため、いわき東京事務所の立地や商店街友好都市として連携交流のある東京都港区など、いわきと所縁のある地域をターゲットとした、“いわき”体験交流ツアーを実施します。

[創立 50 周年記念事業]

会員企業と一体となり、商工会議所の存在意義をアピールしながら、経営支援、産業振興、地域振興、関心人口増加に向けた事業を行います。また、いわきが将来目指すべき姿を見据え、今後の展開につながる事業を実施します。

1. 未来に向けて発信する記念行事

①記念式典・祝賀パーティーの開催（7月7日（金）16時より）

※関係者の皆さまと一緒に50年の節目を祝いながら、震災後に商工会議所が取り組んできた活動を映像で紹介、これを踏まえた今後の活動方針、50周年記念事業内容についてのメッセージをスマートにプレゼンテーションする機会とします。

②記念誌の発刊

※商工会議所事業活動や地域・産業の軌跡を振り返る「写真で綴る50年のあゆみ」、地域振興ビジョン2014、いわきの未来に向けた提言等を掲載した記念誌を発刊します。

2. 中小企業の経営力強化に向けた事業

①いわき産業フェスタの開催（再掲）

②メイド in いわき復興大商談会の開催（再掲）

③いわき市中小企業・小規模企業振興基金の創設（再掲）

3. 地域振興・関心人口増加に向けた事業

①地域課題解決型プロジェクト支援事業の創設

※人財育成、観光再生、関心人口の増加、若者の東京流出、高齢化社会への対応、コンパクトシティづくりなど、いわきの地域課題の解決に向けて、会員事業所や地域団体等が連携して取り組む事業活動を助成支援することで、強い企業、人財、まちの育成を促進します。

②「いわき市中心市街地活性化基本計画（平地区）」推進事業の実施（再掲）

③大人の社会科見学・いわき再発見ツアーの実施

※地元企業の魅力、歴史文化等、市民でも知る機会のない地域の魅力や活動を学ぶことで、自分たちのまちに関心のある人財を育てる市民向けツアーや教養講座等を開催します。

④いわき体験交流事業の実施（再掲）

※特別委員会等の組織は設けず、部会・委員会事業として正副会頭会統括のもと実施します。

〔 部会 事業計画 〕

※事業内容の●は部会における重点項目

| ■商業部会 地域経済の動向を捉えた商業振興、個店の経営力強化を図ります。 | |
|--|---|
| 部会方針 | いわき市中心市街地活性化基本計画（平地区）の認定により推進される民間主導の中心市街地活性化事業、「(仮称) イオンモールいわき小名浜」のオープンなど、地域商業に大きな影響を与える動向を捉えながら、商業振興、個店の経営力強化のための事業、各地区まちづくりの支援協力を実施します。 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ●各地区まちづくり情報共有化のための懇談会の開催 ○ソーシャルメディアの利活用による販路開拓支援 ○「(仮称) イオンモールいわき小名浜」との地域連携策の検討 ○小規模事業者持続化補助金等を活用した事業計画策定の支援 ○部会総会・交流会の開催 |

| ■工業部会 浜通りの研究開発・再エネ産業の集積、地元企業との連携を推進します。 | |
|---|---|
| 部会方針 | 福島県浜通り地域のイノベーション・コースト構想や福島新エネ社会構想に基づく、ロボットや廃炉等の研究開発型産業、再生可能エネルギー産業の集積が推進される中、地域内製造業の事業参入を支援するとともに、地域ものづくり情報発信の強化と企業取引の促進、企業を支えるものづくり人財の育成に取り組みます。 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ●再生可能エネルギー産業誘致・関連産業集積に関する調査研究 <ul style="list-style-type: none"> ※阿武隈地域風力発電開発事業の調査、進出予定企業との懇談会の開催 ※世界最新鋭石炭火力発電(IGCC)建設計画への地元企業の参画推進 ●浮体式洋上風力発電実証実験後の事業化調査、港湾施設整備計画に関する要望活動 ○新たな産業創出のための調査研究 <ul style="list-style-type: none"> ※廃炉産業、バッテリーバレー構想など電池関連産業（太陽光、蓄電池、燃料電池）、六次化産業（水耕栽培による野菜工場）など ○地域内ものづくり企業のPRおよび受注拡大の支援 ○地域内企業の海外販路開拓支援 ○「いわきものづくり塾」による人財育成 ○「いわき水揚げカツオ」の「食」ブランドづくりの調査研究 ○部会総会・交流会の開催 |

■建設業部会

いわきの早期復旧復興、地元建設業界の課題解決と受注促進を図ります。

| | |
|-------------|--|
| <p>部会方針</p> | <p>技術者・労働者不足、労務費・建設資材等の設計価格の乖離など、新たな課題に直面する建設業界において、地域の大規模拠点施設等の建設計画を着実に進捗させるため、官民連携での人材や各種予算の確保、地元企業への復興事業発注促進に取り組みます。</p> |
| <p>事業内容</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●地元建設業者への復興工事発注に向けた要望活動の実施 ○国土交通省担当官、国土交通省東北地方整備局磐城国道事務所・小名浜港湾事務所、福島県いわき建設事務所、いわき市との懇談会の開催 ○地元選出国會議員、県議會議員、市議會議員との懇談会の開催 ○部会総会・交流会の開催 |

■観光・飲食業部会

観光再生に向けたインバウンド・スポーツ観光を推進します。

| | |
|-------------------|--|
| <p>部会方針</p> | <p>観光×農業振興、スポーツ振興、復興・BCP 推進など、まちづくりの手段としての観光振興に取り組む。また、市内在住外国人との懇談、専門家を招いた勉強会、先進地視察を通じてとりまとめた「いわきインバウンド観光戦略 2018」を実行します。</p> |
| <p>事業内容</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●インバウンド観光エージェントや外国人ブロガーを招いたモニターツアーの実施と情報発信 ○福島県と連携したインバウンドプロモーション展開 ○太平洋・島サミット(H30)、世界水族館会議(H30)、ラグビーワールドカップ(H31)、東京オリンピック・パラリンピック(H32)等の開催にあわせたインバウンド受入態勢の整備 ●スポーツ大会・合宿の誘致促進とスポーツのまちづくりの推進 ○誘客推進のための旅館ホテルガイドの作成 ○商工会議所ネットワークによるHOPE(スタディ)ツアーの実施 ○飲食業経営活性化セミナーの開催 ○風評払拭のための放射性物質検査支援事業の実施 ○部会総会・交流会の開催 |
| <p>創立 50 周年事業</p> | <ul style="list-style-type: none"> ◆大人の社会科見学・いわき再発見ツアーの実施 ◆東京都港区“いわき”体験交流ツアーの実施 |

■生活サービス業部会

企業人財の確保と育成、生産性の向上に資する事業を推進します。

| | |
|------|---|
| 部会方針 | 生活サービス業（冠婚葬祭、理美容、医療福祉、対個人サービスなど）の経営課題である、「人財育成」、「生産性の向上」に対応するため、専門家を招いたセミナーや研修による、企業・人財の育成、専門機関が実施する事業や経営支援策の活用による職場環境の改善や経営基盤の強化を推進します。 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none">●（仮称）女性かがやき塾の開催<ul style="list-style-type: none">※現場で活躍する経営者や幹部社員の講話、社会経済トレンド、美や健康、食や文化など、働く女性を内面からキラキラと輝かせるための硬軟織り交ぜた教養講座。○人財定着のためのセミナーの開催○経営活性化セミナーの開催<ul style="list-style-type: none">※シニア市場の開拓、顧客づくり、サービスや料金体系など、社会環境の変化に対応した経営戦術を学ぶ。○生活サービス業部会Fネットの推進○部会総会・交流会の開催 |

■運輸業部会

運輸業界が抱える課題の解決と企業経営の安定化を推進します。

| | |
|------|---|
| 部会方針 | 企業の人財不足、長時間労働の問題、取引環境の問題、コスト対策、環境負荷軽減策など、運輸業界が抱えている課題の抽出と解決策に向けた調査研究を進めるとともに、企業経営の安定化に向けた事業に取り組んでいきます。 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none">●物流効率化セミナーの開催<ul style="list-style-type: none">※運輸・物流業界の動向、人財不足や長時間労働、取引環境などの業界の課題解決に向けたセミナー。●運輸業を取り巻く関係機関との懇談会の開催<ul style="list-style-type: none">※国縣市等の行政機関との意見交換、関連政策や施策に関する研修○先進地視察会の実施○物流動向や物流効率化に関する調査研究○部会総会・交流会の開催 |

■情報通信業部会

中小企業の情報リテラシー向上、ICTによる経営活性化を推進します。

| | |
|------|--|
| 部会方針 | ICT(情報通信技術)の利活用が企業経営の要となる昨今、中小企業の情報リテラシー(情報の管理、活用する能力)向上に取り組み、「強い企業」と「強い人財」の育成を推進します。また、地域の課題に解決に向けたICTの利活用を調査検討し、「強いまち」の育成を推進します。 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none">●ICTセミナーの開催<ul style="list-style-type: none">※IoT、AI(人口知能)、ビッグデータ、クラウド、SaaS、フィンテックなど新しい用語が立て続けに誕生するなか、こうした用語の意味するところ、その背景にある技術革新や社会経済動向、経営への利活用策、必要なセキュリティーについて、会員企業の理解促進につながるセミナーを開催する。○Yahoo!JAPAN おもてなしギフトショップの普及拡大<ul style="list-style-type: none">※商工会議所会員事業所専用のオンラインショップによる販売促進。○ICT支援施策の利活用促進○ICT活用先進事例の調査研究○交通情報共有システムに関する調査研究○情報化政策に関する行政との連携強化○ICT教育に関する支援協力○部会総会・交流会の開催 |

■理財・都市開発業部会

地域材の活用促進、地域経済の動向を捉えた企業活性化を図ります。

| | |
|------|---|
| 部会方針 | 都市開発や不動産並びに金融など、各業界の現状と動向調査、企業経営安定のための情報提供に関する事業に取り組みます。 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none">●地域材活用に関するセミナーの開催<ul style="list-style-type: none">※地域材利活用と公共施設・住宅木造化、木質化推進のセミナー。○経済並びに経営に関するセミナーの開催○行政や金融機関など関係機関との懇談会の開催○先進地視察の実施<ul style="list-style-type: none">※耐火木造建築(CLT工法等)、地域社会振興のための先進事例を視察。○景気・経済動向等に関する情報発信○部会総会・交流会の開催 |

〔 常置委員会 事業計画 〕

※事業内容の●は委員会における重点項目

| ■地域振興委員会 暮らしやすい生活拠点都市を目指した“まちづくり”を推進します。 | |
|--|--|
| 委員会方針 | 地域振興ビジョンに掲げる、総合的な豊かさを実感できる、暮らしやすい生活拠点都市に向け、いわき市と連携を図りながら、いわきが目指すべき姿について調査検討、提案していきます。また、復興創生の鍵となる人財育成の推進、スポーツなど新たな切り口による地域振興策、都市ブランド力向上を調査検討します。 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ●10年後に目指すべき「いわきの姿」の調査検討 <ul style="list-style-type: none"> ※いわき市の次期総合計画を見据えながら、市職員と若手経済人による勉強会を設け、いわきの現況や課題、目指すべき姿を検討する。 ●いわきFCと連携したスポーツによるまち・ひとづくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ※将来Jリーグ参入を目指す「いわきFC」を通じた地域振興策の検討。 ○いわき商業まちづくり連携会議の運営 <ul style="list-style-type: none"> ※（仮称）イオンモールいわき小名浜との地域連携策の検討、要望等。 ○いわきアカデミアプロジェクトの推進 ○地域振興策・まちづくりに関する調査研究 |

| ■産業振興委員会 蓄電池産業など新産業の調査研究、企業の新分野進出支援を図ります。 | |
|---|---|
| 委員会方針 | 政府の「水素・燃料電池戦略」推進、市のバッテリーバレー構想の実現に向けた取組みが進められる中、水素等の次世代エネルギーや再生可能エネルギー、いわきの産業振興への貢献が期待される蓄電池産業の可能性について調査研究するとともに、地域製造業の新分野進出の支援、取引拡大に取り組めます。 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ●次世代エネルギー及び蓄電池関連産業集積に向けた調査研究 <ul style="list-style-type: none"> ※水素や再生可能エネルギー等の次世代エネルギーと蓄電池産業 ●いわき市内大手企業復旧・復興懇談会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ※市内大手企業(14社)の連携による地域貢献策の検討と課題整理 ○福島イノベーション・コースト構想と連携した産業・人財育成拠点の整備促進 ○地域産業を支える人財育成・確保 ○新産業創出と地元企業の参画に向けた調査研究 |
| 創立50周年事業 | <ul style="list-style-type: none"> ◆いわき産業フェスタの開催 |

■経営力強化委員会

中小・小規模企業の変革と地域の活力維持に向けた事業を推進します。

| | |
|----------|--|
| 委員会方針 | <p>経済産業省の経営発達支援計画の認定を受けたことによる「企業活性化プロジェクト」、「いわき市中小企業・小規模企業振興条例」施行に伴う基金創設等により、地方創生における地域活力に欠かせない企業活動の変革や創造を支援します。また、企業の円滑な事業承継の支援に取り組みます。</p> |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ●いわき事業承継支援センターの運営と金融機関懇談会の開催 ※金融機関等と連携し、企業の円滑な事業承継を支援していく。 ●いわき企業活性化プロジェクトの実施 ※意欲ある事業者(5社)の経営戦略構築など集中支援を実施する。 ○販路開拓支援のための首都圏バイヤーとの商談・懇談会の実施 ※いわきブランド推進委員会と連携した商談会を実施する。 ○専門家と連携した新事業・六次化産業の支援 ○マルケイ資金制度の推進 ○インターンシップ事業の実施 |
| 創立50周年事業 | ◆「いわき市中小企業・小規模企業振興基金」の創設 |

■いわきブランド推進委員会

いわきの風評被害の払拭と「食」のブランド化を推進します。

| | |
|----------|--|
| 委員会方針 | <p>いわき地域の有望な資源として選定した「いわきサンシャイントマト」、「カツオ」を用いた試作品「カツオかまぼこ」と「トマトヨーグルト」の商品化、また、参加事業者を拡大しながら新商品開発の検討、いわきブランドの育成に取り組んでいきます。</p> |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ●地域の農水産資源を活用した商品開発 ※専門家との連携による試作品開発、パッケージデザイン制作等 ●市内事業者と商品開発に向けた調査研究・コーディネート支援 ○地域産品の販路開拓に向けたテスト販売 ※首都圏デパートや日本百貨店食品館等での試験販売 ○いわき「食」の応援アドバイザーボード構築事業 ※いわき出身の首都圏で活躍する経営者やマスコミ関係者、いわきを応援する組織や個人と連携したいわきブランド発信、商品開発の検討。 |
| 創立50周年事業 | ◆「メイド in いわき復興大商談会」の開催 |

■総務運営委員会

商工会議所の組織基盤の安定と強化に向けた検討をします。

| | |
|------------|--|
| 委員会方針 | 商工会議所活動の基盤となる組織財政の強化と運営の適正化に向けて検討するとともに、商工会議所創立 50 周年記念式典及び関連事業を企画、実施します。 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○会員サービス事業充実に向けた検討 <ul style="list-style-type: none"> ※会員プレミアムバスツアー、各種保険制度、がん検診、FMいわき会員インフォメーション、会報ふるんていあ等の充実化、新たな会員サービス事業の企画。 ○会員交流ゴルフコンペの開催 ○財政状況の点検および必要に応じた改善策の検討 ○各種規程の改正案の検討 ○新規会員および共済加入者募集の推進支援 ○勿来商工会館の老朽化対策の検討 |
| 創立 50 周年事業 | <ul style="list-style-type: none"> ◆記念式典・祝賀パーティーの企画 ◆創立 50 周年記念誌の発刊 |

[特別委員会 事業計画]

■小名浜港物流高度化特別委員会

重要港湾小名浜港の整備促進と利用促進に向けた活動を推進します。

| | |
|-------|---|
| 委員会方針 | 国、県、市と連携を図りながら、国際バルク戦略港湾並びに特定貨物輸入拠点港湾に指定されている、重要港湾小名浜港の整備促進と利用促進に向けて取り組みます。 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○小名浜港整備・利用促進に関する要望活動 <ul style="list-style-type: none"> ※東港地区の大深水耐震強化壁等の早期整備と予算確保、総合エネルギー産業集積拠点港湾としての機能充実、客船誘致のための航路整備、小名浜道路等主要アクセス道路の整備促進、1・2 号埠頭地区の倉庫跡地の再開発促進、マリーナの早期復旧に向けた検討 など ○小名浜港ポートセールス事業 ○「小名浜港セミナー」への参画促進 ○国土交通省、福島県、いわき市との懇談会の開催 ○小名浜港の港湾機能高度化に向けた調査検討 |

〔 地区委員会 事業計画 〕

※事業内容の●は委員会における重点項目

| ■平地区委員会 いわき市中心市街地活性化基本計画(平地区)に基づく事業を推進します。 | |
|--|---|
| 委員会方針 | 国が認定する「いわき市中心市街地活性化基本計画（平地区）」に基づき、人・暮らし・文化がつながるまちの理念のもと 6 つの目標テーマを柱とした民間主導プロジェクトについて、企業や関係団体、一般市民に広く喚起し、相互連携と協働による「平のまちづくり」を推進していきます。 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ●「いわき市中心市街地活性化基本計画(平地区)」の推進 ○いわきの伝統行事「平七夕まつり」への支援協力 ○平地区議員の情報交換と交流促進 <ul style="list-style-type: none"> ※磐城平城本丸跡地の公有化、平並木通り駅前再開発など、地区の発展や活性化に関する課題の共有と連携強化を図る。 ○新規会員・共済制度加入募集キャンペーンの推進 |
| 創立 50 周年事業 | <ul style="list-style-type: none"> ◆「未来を創造するまちづくり交流会」の開催 <ul style="list-style-type: none"> ※企業、市民等への喚起を促す、平のまち活性化推進イベント。 |

| ■小名浜地区委員会 いわきの「復興シンボル」小名浜地区の復興創生を推進します。 | |
|---|---|
| 委員会方針 | いわきの復興シンボルである小名浜地区の復興と整備に向け、復興創生において日々変化する地域の社会動向、地域の実態を捉えながら、小名浜地区の復興と発展を推進していきます。 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ●小名浜港周辺地域と既成市街地との連携促進、まちづくり推進 ●(仮称)イオンモールいわき小名浜出店・タウンモールリスポ 周辺再開発に伴うまちづくり勉強会及び情報交換会の開催 ○アクアマリンパーク・漁港区の復興推進と世界水族館会議 (H30) 開催に向けた協力、観光 PR の推進 ○小名浜港・東港の整備促進への支援協力 ○小名浜地区議員の情報交換と交流促進 <ul style="list-style-type: none"> ※地区諸課題の共有と連携強化を図る。 ○新規会員・共済制度加入募集キャンペーンの推進 |

■常磐地区委員会

いわき湯本温泉郷を中心とする観光再生とまちづくりを推進します。

| | |
|--------------|---|
| <p>委員会方針</p> | <p>いわき湯本温泉を中心とする観光産業が地域経済を牽引している常磐地区において、各種地域団体と連携しながら、観光再生とまちづくりを推進していきます。また、常磐湯本地区まちづくり計画を推進する、まちづくり会社等の組織づくりに向けた調査研究に取り組みます。</p> |
| <p>事業内容</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●常磐湯本地区まちづくり計画とまちづくり会社の調査研究 ●いわき湯本温泉郷を中心とする観光産業再生への支援 <ul style="list-style-type: none"> ※フラのまち宣言推進委員会と地域団体の地域再生事業への支援 ●会員交流ゴルフコンペ事業の実施 ○ドイツ・バーデンヴァイラー市との国際友好交流事業の継続 ○域内の諸団体・関係機関・地元企業と連携したまちづくり支援 <ul style="list-style-type: none"> ※主要支援団体 じょうばん街工房 21、いわき湯本温泉旅館協同組合、いわき湯本温泉観光協会、いわき湯本温泉商店会連合会、同地区飲食業組合等 ○常磐地区議員の情報交換と交流促進 <ul style="list-style-type: none"> ※地区諸課題の共有と連携強化を図る。 ○新規会員・共済制度加入募集キャンペーンの推進 |

■勿来地区委員会

勿来地区の振興、広域連携によるまちづくりを推進します。

| | |
|--------------|---|
| <p>委員会方針</p> | <p>震災から6年が経過し、勿来地区を取り巻く地域経済環境が大きく変化する中、会員企業の経営支援強化、勿来地域の課題の共有を図りながら、勿来地区振興を推進していきます。</p> |
| <p>事業内容</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●勿来地区会員研修会および交流会の開催 ●勿来地区のランドデザインに向けた調査検討 ○国道6号バイパス南伸の早期実現に向けた要望活動 ○北茨城・相双地区との行政・商工団体等との情報交換会の開催 ○地区内外の先進企業および施設視察会の実施 ○勿来商工会館の老朽化対策の検討 ○震災復旧から復興に向けた経営支援の推進 ○地域諸団体との協調による事業連携及び支援協力 ○勿来地区議員の情報交換と交流促進 <ul style="list-style-type: none"> ※地区諸課題の共有と連携強化を図る。 ○新規会員・共済制度加入募集キャンペーンの推進 |

〔 青年部・女性会 事業計画 〕

※事業内容の●は青年部・女性会における重点項目

| ■青年部 若手経済人として企業を支える「強い人財の育成」を推進します。 | |
|--|---|
| 委員会方針 | <p>経済人としての資質向上や地域の枠を超えた人的ネットワークの構築を図りながら、「強い人財の育成」を念頭に、社会経済や地域に関する知見を広げた自己研鑽に努めるとともに、ジュニアエコノミーカレッジを通じ、次代の地域や企業を担う子供たちの起業教育に取り組んでいきます。</p> |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ●若手企業家の育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ※青年部例会・移動例会、全国商工会議所・東北ブロック・福島県内商工会議所青年部連合会など関係組織との連携により、若手経済人としての自己研鑽、資質向上、ネットワークを構築する。 ●ジュニアエコノミーカレッジ in いわき 2017 の実施 ○地域活性化キャラクター「たいらもん」の普及拡大 ○地域振興イベント等との連携交流の促進 ○青年部活動のPR 促進と新規会員の増強、組織基盤の強化 |

| ■女性会 女性経営者としての自己研鑽と女性が活躍する地域社会を推進します。 | |
|--|--|
| 委員会方針 | <p>女性経営者として、また、それを支える立場から、持続可能な経営「強い企業」を目指し、各種勉強会や研修会を通じて、女性経営者の資質向上と自己研鑽に努めます。また、県内外の各地女性会とのネットワークを活かした連携事業や親睦交流を図り、地域社会の向上を推進します。</p> |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ●女性経営者の資質向上と経営力強化事業 <ul style="list-style-type: none"> ※会員勉強会、域内企業への経営視察研修会の実施、全国商工会議所女性会連合会・東北六県商工会議所女性会連合会・福島県商工会議所女性会連合会や関係団体と連携した資質向上、自己研鑽。 ●女性会創立 35 周年事業の実施 ○会員親睦交流事業、義援金交流・会員視察研修の実施 ○女性会活動強化に向けた会員増強運動（1×1 運動）の推進 ○行政と連携した男女共同参画事業への支援 ○地域貢献に資するボランティア活動の支援 |

[商工会議所運営に関する事項]

正副会頭指揮のもと、商工会議所創立 50 周年記念事業の統括、政策提言活動の強化、経営改善普及事業の推進、会員サービス事業の推進、国際及び都市交流事業の推進等に取り組んでいく。

(1)創立 50 周年記念事業の統括

- ① 記念式典・祝賀パーティーの開催
- ② 部会・委員会が所管する記念事業の統括

(2)政策提言活動の強化

- ① 部会活動を通じた業界課題の集約、政策とりまとめ、提言活動の実施
- ② 日本商工会議所、福島県商工会議所連合会等と連携した意見活動の実施
- ③ 政策課題をテーマとした議員懇談会、議員研修会の開催
- ④ 地元選出国會議員、国、県、市との懇談会の開催
- ⑤ マスコミとの懇談会の開催
- ⑥ 市内経済団体との連携強化
- ⑦ 次期議員改選に向けた議員・役員選任方法及び関連規程の見直し
- ⑧ 当所議員(委員会)の政策活動をサポートする事務局機能の強化

(3)経営改善普及事業の推進

- ① 経営、経営革新、情報化、金融、税務、労働、取引等に関する経営相談の実施
- ② 経営指導員による計画的な巡回訪問の実施
- ③ 経営課題に対応した講習会及び相談会の開催
- ④ 弁護士、中小企業診断士、税理士を配置した経営安定特別相談室の運営

(4)会員サービス事業の推進

- ① 会員事業所の福利厚生充実に向けた「かもめ共済」・「特定退職金制度」・「個人保険」の普及推進
- ② リスク対応保険(PL 保険、個人情報漏えい賠償保険、休業補償保険、業務災害補償保険、中小企業倒産防止共済)の普及推進
- ③ 会員及び共済加入者プレミアムバスツアーの実施
- ④ 会員割引 PET 診断、がん予防検診の実施
- ⑤ 会員事業所に向けた「健康経営」の普及推進

- ⑥ 優良会員事業所、永年勤続・優良従業員表彰の実施
- ⑦ 簿記、リテールマーケティング、福祉住環境、エコ検定、もしもし検定の実施
- ⑧ 販売士資格更新講習会、日商簿記検定 3 級講座の開催
- ⑨ 貿易関係証明書の発行
- ⑩ 容器包装リサイクル委託登録申込み受付
- ⑪ JAN コード申請・更新申込み受付
- ⑫ 汚染負荷量賦課金申告説明会の開催及び申告受付
- ⑬ 会報「ふろんていあ」の発行
- ⑭ いわき FM 会員インフォメーションの実施

(5)国際及び都市交流事業の推進

- ① 国際友好都市(ハワイ、タウンズビル、撫順、バーデンヴァイラー)との交流事業の推進
- ② 国内親子・兄弟都市(由利本荘市、延岡市)との交流事業の推進
- ③ 商店街友好都市(東京都港区)との連携交流促進

[主要関係団体]

[事務受託団体]

- (1) いわき経営者協会
- (2) いわき青色申告会本会・平・小名浜・常磐・勿来 各支部
- (3) 福島工業高等専門学校協力会
- (4) いわき中央・東・南地区警察官友の会
- (5) いわき市平商店会連合会
- (6) 小名浜地区商店連合会
- (7) いわき湯本温泉商店会連合会
- (8) 福島県エネルギー懇談会いわき支部
- (9) いわき都市圏道路整備促進期成同盟会
- (10) いわき・ベトナム交流協会

[出資団体]

- (1) 株式会社いわき市観光物産センター
- (2) 株式会社いわき市民コミュニティ放送
- (3) アクサジャパンホールディング株式会社
- (4) いわき信用組合
- (5) 職業訓練法人いわき情報処理開発財団(いわきコンピュータ・カレッジ)
- (6) 株式会社いわき小名浜コンテナサービス
- (7) 株式会社いわきティーワンビル
- (8) 株式会社ラトブコーポレーション

[関係を緊密にする団体及び機関]

- (1) 日本商工会議所並びに各商工会議所及び連合会
- (2) いわき地区商工会連絡協議会並びに市内各地区商工会
- (3) 福島県浜通り三商工会議所連絡協議会
- (4) いわき経済同友会
- (5) 福島県中小企業家同友会いわき地区
- (6) 一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー
- (7) 公益社団法人いわき産学官ネットワーク協会
- (8) NPO 法人いわき環境システム
- (9) 公益社団法人いわき青年会議所
- (10) 公益社団法人いわき法人会
- (11) 一般社団法人東北経済連合会
- (12) 公益財団法人ふくしま海洋科学館

- (13) 東北ニュービジネス協議会
- (14) 東北情報通信懇談会
- (15) 福島県高度情報化推進協議会
- (16) いわき市地域情報化研究会
- (17) ジェトロ福島貿易センター
- (18) 浜通り地方開発整備促進期成同盟会
- (19) 福島県常磐自動車道建設促進期成同盟会
- (20) 福島県東北横断自動車道建設促進期成同盟会
- (21) 高規格道路整備促進期成同盟会
- (22) 一般国道6号常磐・久之浜バイパス・一般国道49号平バイパス改築工事促進期成同盟会
- (23) いわき市鉄道を応援する会
- (24) 福島県小名浜港利用促進協議会
- (25) 小名浜港整備促進期成同盟会
- (26) 磐越自動車道沿線都市交流会議
- (27) 一般社団法人いわきバッテリーバレー推進機構
- (28) 株式会社日本政策金融公庫
- (29) 福島県信用保証協会
- (30) 平金融団
- (31) 福島県中小企業団体中央会
- (32) 福島県中小企業振興公社
- (33) 福島県環境保全公社
- (34) 福島県産業教育振興会
- (35) いわきアカデミア推進協議会
- (36) ふくしまの未来を担うCOC+連携会議
- (37) いわき明星大学地域連携協議会
- (38) いわき地区税務団体連絡協議会
- (39) 東北税理士会いわき支部
- (40) いわき珠算連盟
- (41) いわき地区電信電話ユーザー協会
- (42) 公益社団法人福島県宅地建物取引業協会いわき支部
- (43) 公益社団法人全日本不動産協会いわき地区
- (44) 公益財団法人いわき市国際交流協会

[地域振興・業界団体]

- (1) IWAKIふるさと誘致センター
- (2) いわきフィルム・コミッション協議会
- (3) いわきヘリテージ・ツーリズム協議会
- (4) いわき市旅館・ホテル業組合連絡協議会
- (5) いわき市中心市街地活性化協議会(平地区)
- (6) 小名浜まちづくり市民会議
- (7) 小名浜スタンプクラブ
- (8) じょうばん街工房 21
- (9) いわき湯本温泉旅館協同組合
- (10) 勿来ひと・まち未来会議
- (11) いわき南部振興拠点推進協議会
- (12) 平東部地区商業振興会
- (13) 勿来地区商店連合会
- (14) ネーブルシティかしま

[実行委員会等]

- (1) いわき観光共同キャンペーン実行委員会
- (2) うつくしま浜街道観光推進会議
- (3) いわき湯本温泉郷・21世紀への新たな構想推進会議
- (4) 平七夕まつり実行委員会
- (5) いわき花火大会実行委員会
- (6) いわき湯本温泉夏まつり実行委員会
- (7) なこそ夏まつり実行委員会
- (8) いわきサンシャインマラソン実行委員会
- (9) カジキグルメ実行委員会
- (10) いわき街ぐるウォーク実行委員会
- (11) 第10回世界水族館会議実行委員会